

地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月30日

(住所) 長野県飯田市大通2丁目208番地
(名称) 信南交通株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 中島 一夫 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 駒場線
運行区間 : 飯田駅前～市立病院～曾山入口
計画期間 : 令和3年10月1日～令和6年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

当該路線は、飯田市立病院を經由し飯田市中心市街地と飯田市西部地区および下伊那郡西部地区（阿智村、平谷村、根羽村）を結ぶ路線である。
飯田市西部地区及び下伊那西部地区には総合病院が存在しないため、地域の基幹病院として多くの地域住民が飯田市立病院にて診察を受けており、当該路線は同病院を經由する事から同院を利用される方には無くてはならない路線となっている。
また、沿線には郊外商業施設の出店があいついでおり、買物を目的とする方にも利用されている他、沿線には下伊那農業高校、飯田OIDE長姫高校が存在する事から両校に通学する高校生にとっては唯一の公共交通となっている。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

輸送量を指標とし計画輸送量の16.3人以上を目標とする

(2) 運行による効果

市立病院経由駒場線を運行する事により移動手段を持たない沿線住民にとって、飯田市立病院にて受信できる安心感に繋がっている。また、阿智村巡回バス、西部コミュニティバスとの接続によるネットワーク形成により幹線系統としての役割を維持して行く。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・沿線高校の学校行事に合わせた臨時便、続行便運行（信南交通）
- ・新入学高校生に対し利用促進チラシの配布（南信州地域交通問題協議会）
- ・お仕事体験イベントでの乗り方教室の実施（南信州地域交通問題協議会）
- ・大人1乗車100円、小人50円設定の「公共交通の日」を数回実施（飯田市）

5. 費用負担額					
補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R3. 10～R4. 9	円 12,868,793	円 3,910,500	円 3,910,500	円 5,047,793	円 0
R4. 10～R5. 9	円 14,354,892	円 5,108,500	円 5,108,500	円 3,993,892	円 0
R5. 10～R6. 9	円 14,971,726	円 5,186,500	円 5,186,500	円 4,598,726	円 0

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有民営補助を活用した車両更新により修繕費の圧縮を実施 ・ 車両別に毎月燃費を公表し燃料削減に努める。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策として車内の換気・消毒を定期的実施し安心して乗車できる環境整備を実施

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿智村巡回バス、西部コミュニティバスとの結節ダイヤの見直し ・ 時刻表の全戸無料配布 ・ 飯田市駒場線部会にて地元からの要望把握
(2) 実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿智村地域公共交通会議、信南交通 ・ 飯田市
(3) 定量的な効果目標（収支改善率1%以上を原則）
上記取組を実施する事により、収支率、対前年1%以上の増加を目標とする
(4) 実施に向けたスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年11月部会開催 ・ 2020年12月ダイヤ調整会議にて次年度ダイヤの調整

(5) 実施時期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年 4 月結節に配慮したダイヤ編成 ・ 2021 年 3 月全戸配布
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表 5 に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県飯田市大通 2 丁目 2 0 8 番地
(所 属) 高速乗合課
(氏 名) 林 浩人
(電 話) 0265-24-0009
(F A X) 0265-24-6292
(e-mail) hhayashi@shinnan.co.jp